



株式会社フュージョンシス
〒108-0023
東京都港区芝浦3-11-1 キョウ
ワクリエイト第一ビル 3F
info@fusionsys.com
http://fusionsys.com/



より安全な情報管理のために……

SaFee の必要な理由

Winny などのファイル交換ソフトがウイルスに感染すると、交換することを意図していないファイル類まで自分の PC の外部に流出してしまいます。これによって情報流出が起きます。一端自分の PC 以外に流出したファイルを回収することは事実上不可能です。

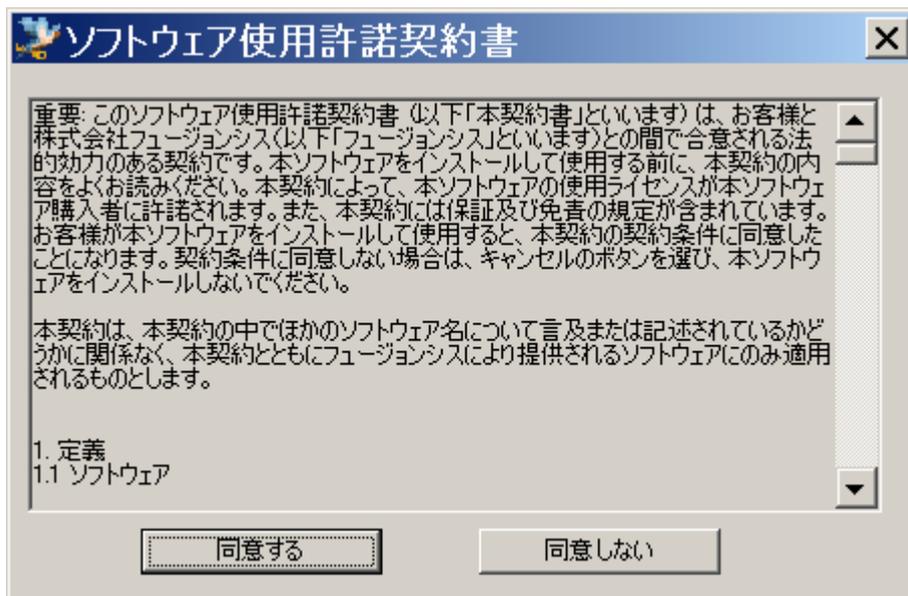
Winny などのファイル交換ソフトを使わないことは、情報流出を防ぐために重要なことはもちろんですが、多数の社員がいる環境や仕事用 PC と個人用 PC との明確な区別が付けられていない環境では、情報流出を防ぐことは非常に困難です。SaFee は、そのような環境下でも情報流出を未然に防ぐことを意図したツールです。

情報が流出する経路には Winny に感染するウイルスだけが原因ではなく、様々なものが考えられます。例えば USB メモリ、DVD、CDR への書き込みなどによって職場の PC から別の PC にファイルがコピーされると、そこで情報流出が起きます。

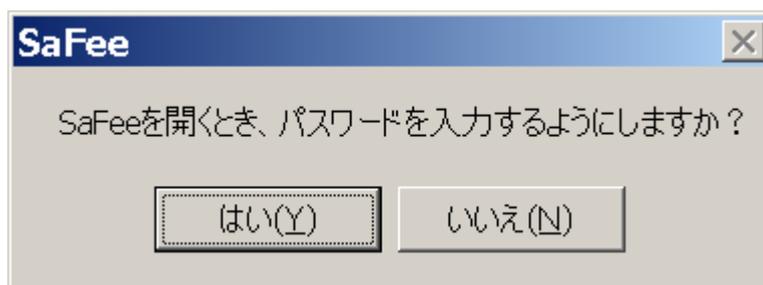
一方、SaFee に保管されたファイル類は、別の PC では開くことができません。

SaFee の起動

SaFee をダブルクリックによって起動します。最初にソフトウェア使用許諾契約書が現れますので、同意される場合は、“同意する”をクリックしてください。

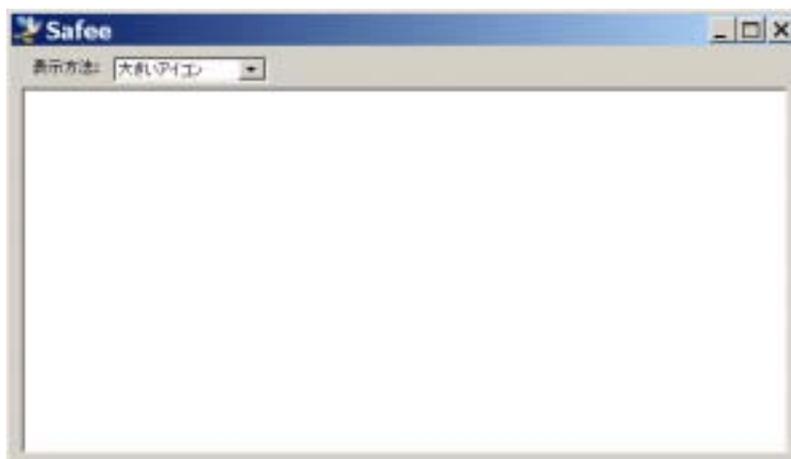


次に下のようなダイアログが現れます。

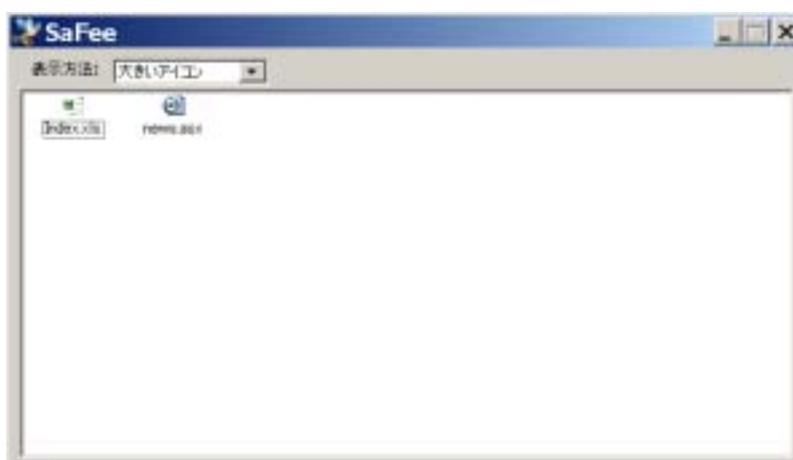


パスワードの設定をするかどうかを選択します。パスワード保護を選択しない場合、2回目以降の起動で、パスワード入力を求められませんが、パスワード保護をする場合は、2回目以降の起動で、パスワード入力を求められます。

ファイルを SaFee に入れる



SaFee にファイルをドラッグ&ドロップ(ファイルのアイコンを起動された SaFee の中に入れる)します。これでファイルの格納が完了しました。

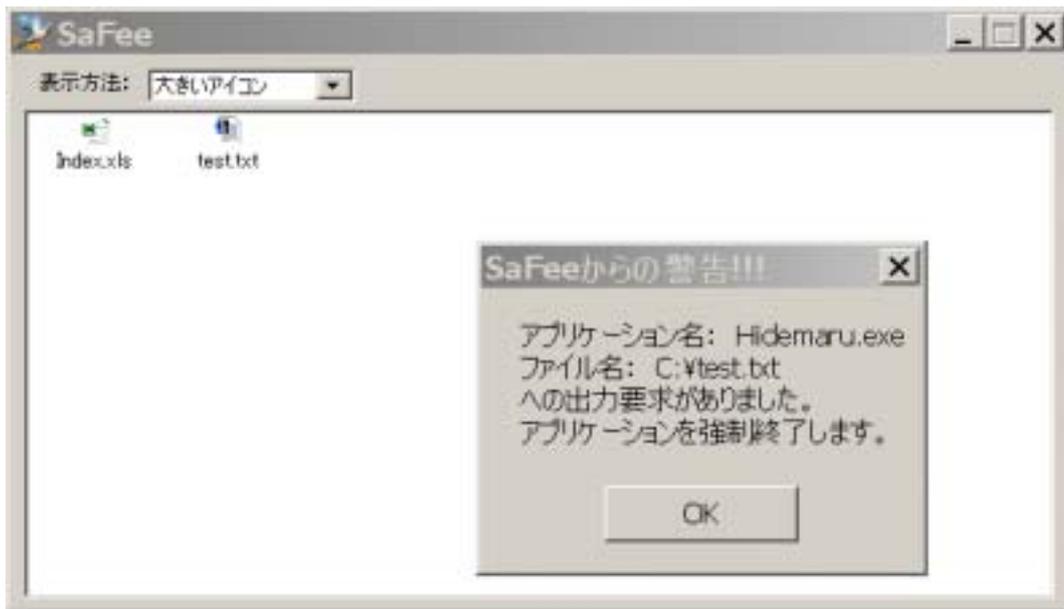


ファイルの編集

SaFee 内のファイルを開覧または編集したいときは、SaFee を起動し、次に SaFee の中の閲覧または編集したいファイルをダブルクリックします。その PC 上で関連つけられているアプリケーションが自動的に起動します。

ファイルの保存

SaFee の中に保存する限り、警告は出ません。しかし SaFee の中以外のところに保存しようとする、下のような警告メッセージが出ます。



アプリケーションは強制的に終了されるので、SaFee 以外の場所への保存はできません。

注意

1. SaFee の中には後からファイルを追加することはできますが、削除すること、移動すること、リネームすることはできません。
2. SaFee の中に一端ファイルを入れると SaFee の中から取り出すことはできません。
3. SaFee の中にドラッグ&ドロップでファイルを入れるとき、ドラッグするファイルは移動されるのであって、コピーはされません。
4. ファイルを編集・閲覧し終わった後は、必ず SaFee を終了させてください。
5. ネットワーク上の共有ディスクから起動することはできません。

ライセンス料

試用期間 30 日が終わった時点で、下のようなダイアログが現れます。



ライセンス料を払って頂くと、キーが送られてきます。“すでに支払い済み”ボタンを押すと次のようなダイアログが現れますので、そこにキーを入力します。



“OK”ボタンを押すと、ライセンスキーが登録され、SaFee を使い続けることができます。

重要

SaFee には免責事項など多くの制限があります。ご使用前に必ずお読みになってください。